

2006年 2月13日

記者各位

三井化学株式会社  
出光興産株式会社

## 有機EL材料ビジネスの協業体制構築について

三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤吉建二、以下「三井」）と出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：天坊昭彦、以下「出光」）は、この度、有機EL材料の研究開発・製造における協業体制の構築について、合意しました。三井と出光は2004年2月の「千葉地区における提携に向けた包括的検討の合意」を契機に、共通する事業分野でのビジネス強化につき検討を続けております。

### 記

#### 1. 協業の概要

- (1) 新規有機EL材料の開発は、両社それぞれが独立して行いますが、三井・出光の「高度な分子設計・合成技術」と出光が得意とする「材料の組合せ技術・実用評価技術」を融合させ、材料開発の大幅な促進と効率化をはかります。
- (2) 有機EL材料の製造体制については、三井・出光両社が保有・整備する製造設備の相互利用により、供給の安定化と競争力強化をはかります。製造体制の整備に関する具体的な内容は、今後、両社間の協議により決定します。
- (3) 協業により得られた新規高性能有機EL材料は、出光が販売を行います。

#### 2. 協業の背景

- (1) FPD<sup>注1</sup>市場の拡大に伴い有機ELディスプレイ市場は、今後の拡大が見込まれております。また一方でLCD<sup>注2</sup>等との競合もあり、有機ELディスプレイの性能向上のため、高性能有機EL材料の開発が市場から益々強く求められています。
- (2) しかしながら、材料開発は有機EL材料メーカー各社が独自に行っており、各社間で技術開発面の共同取組はほとんど実施されておられません。今般、新たな取り組みとして、多数の有機EL材料関連特許を所有する三井と、世界トップクラスの技術力と特許を有する出光は、研究開発分野での共同取組に合意したものです。
- (3) また、有機EL市場立ち上がりが本格化する中で、有機EL材料の製造体制の確立が急務となっています。これに対応すべく、三井と出光は有機EL材料の製造体制の整備に関する協業に合意しました。

注1 FPD：フラットパネルディスプレイ 注2 LCD：液晶ディスプレイ

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社	IR・広報室	03-6253-2100
出光興産株式会社	広報室	03-3213-3115